

研究課題名	食道アカラシアと類縁疾患に対する内視鏡下筋層生検による分子生物学的な検討
研究の意義・目的	<p>食道アカラシアや類縁疾患（ジャックハンマー食道、遠位食道痙攣）が発症する要因として、ウイルス感染、免疫異常、遺伝、消化管ホルモン、好酸球性筋炎などの関与の可能性が示唆されていますが、その詳細は未だ明らかではありません。また、マイクロRNAは、遺伝子の発現調整を行う機能性核酸であり、神経変性やがんなどの発症や進行に関与しています。</p> <p>この研究では、食道アカラシアや類縁疾患の患者さんの内視鏡下筋層切開術（POEM）術中に食道筋層組織を採取して顕微鏡の検査（病理検査）で神経細胞や炎症細胞を評価したり、遺伝子発現の制御に重要な役割を果たしているマイクロRNAを解析したりし、さらに食道運動異常のない食道がんや胃がん患者さんの手術時の検体の食道筋層組織と比較検討します。これにより、食道アカラシアや類縁疾患の病態の解明や治療の発展にも寄与するものと考えています。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2030年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2018年1月～2030年3月に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科で食道アカラシア、類縁疾患（ジャックハンマー食道、遠位食道痙攣）の患者さんで、内視鏡的筋層切開術（POEM）を受けられた方と、当院消化器外科で倫理委員会承認後～2030年3月に、食道運動異常のない食道がんや胃がん患者さんで、食道切除術を受け本研究への参加に同意いただいた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>試料：食道筋層組織</p> <p>診療情報等：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、診断名、前治療歴、症状スコア、血液検査所見、食道内圧検査所見、上部消化管内視鏡検査所見、食道造影検査所見</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科、消化器外科で行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 大南雅揮
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は教室研究費を使用して行いますが、本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学</p> <p>（担当者氏名）大南 雅揮</p> <p>電話番号：06-6645-3811</p> <p>メールアドレス：ominami@omu.ac.jp</p>